



平成29年度

生活困窮者の自立支援

生活困窮者が増加する中、最後のセーフティネットである生活保護に至る前の支援が重視されています。

数多くの支援事業の事例から、生活困窮者を支える体制整備の進め方、効果的な事業の実施、地域のネットワーク形成の手法などを学び、それぞれの地域の特性や事情を踏まえた具体的な支援のあり方を考えます。

研修のポイント

- 「生活困窮者自立支援法」の概要や今後の動向について学びます。
- 対象者の特性に応じた支援の1つとして、発達障害児・者の支援のあり方について学びます。
- 様々な方法で支援事業を展開している団体からの報告を受け、相談から就労に至るまでの支援を切れ目なく包括的に提供するための施策や実施の手法について考えます。

開催要領

日程 平成30年1月22日(月)～1月24日(水) (3日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 ● 生活困窮者支援に関わる都道府県・市区町村の職員
● 社会福祉協議会の職員及び行政と協働実績のあるNPO団体等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますので留意ください。

また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会議務局を通じてお申し込みください。

募集人数 40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 10,500円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成29年12月4日(月)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会議務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<http://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <http://www.jiam.jp>

平成30年

1月
22日(月)

- 11:00～ 入寮受付・昼食
- 12:30～ 開講・オリエンテーション
- 13:00～14:00 **講義** **生活困窮者自立支援法の意義と今後の動向**
 一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 榎部 武俊 氏
 生活困窮者自立支援の本質的な意義と支援のあり方、制度見直しに向けての国の最新動向についてお話しいただきます。
- 14:15～16:15 **事例紹介** **中間的就労の場の創出**
 一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 榎部 武俊 氏
 釧路市で実践されている「地域ニーズを踏まえた就労の場づくり」について、その理念・目的、具体的な活動内容とこれまでの成果についてご紹介いただきます。
- 16:30～17:30 **講義** **発達障害児・者の特性と支援のあり方**
 滋賀県立精神保健福祉センター 所長 辻本 哲士 氏
 発達障害児・者の特性を理解し、学習や就労等の支援をどのように展開していくのかについてご講義いただきます。
- 18:00～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成30年

1月
23日(火)

- 9:25～10:35 **事例紹介** **就労準備支援事業**
 北海道岩見沢市健康福祉部保護課管理グループ 主事 羽鳥 広之 氏
 様々な就労体験メニューの展開と事業を地域づくりに活かす取り組みについてお話しいただきます。
- 10:50～12:00 **事例紹介** **庁内関係部署・機関との連携による支援**
 しごと・くらしサポートセンター尼崎(尼崎市福祉事務所生活困窮者自立支援担当) 草部 隆太 氏
 窓口の存在を知ってもらうための少人数制の研修会を足がかりとして、制度の周知や理解者を増やすことに取り組み、支援のバリエーションを拡げていった尼崎市の事例についてお話しいただきます。
- 13:00～14:10 **事例紹介** **地域連携・多機関の協働による支援**
 社会福祉法人 江戸川区社会福祉協議会 事務局次長 加藤 晃一 氏
 住民に身近な圏域で何でも相談でき、ネットワークづくりの場としても機能する「なごみの家」運営の取り組みをご紹介いただき、地域力を活かした支援について考えます。
- 14:25～15:35 **事例紹介** **学習支援事業**
 京都府長岡京市健康福祉部社会福祉課保護係 係長 伊藤 信哉 氏
 大学との連携で、学生ボランティアによる指導を中心とした学習支援事業を実施されている長岡京市の取り組み事例について、お話しいただきます。
- 15:50～17:00 **事例紹介** **家計相談支援事業**
 生活協同組合連合会 グリーンコープ連合・共同体 常務理事 生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏
 公共料金滞納、借金返済などを福祉制度利用に結びつけるといった家計立て直しの実践と、相談者の信頼に応えるための相談員のスキルアップに関する取り組みを中心に話しいただきます。
- 17:15～ **意見交換会**

平成30年

1月
24日(水)

- 9:25～12:00 **演習・ふりかえり**
生活困窮者自立支援制度における支援事業を効果的に実施するために 1
- 13:00～15:00 **演習・ふりかえり**
生活困窮者自立支援制度における支援事業を効果的に実施するために 2
 九州大学大学院統合新領学府客員准教授 加留部 貴行 氏
 研修全体をふりかえるとともに、受講者同士で各自治体の取り組みや課題を共有し合い、様々な主体との連携などによる効果的な事業の実施方法について考えます。企業、大学、行政、NPOの4つのセクターを経験し、それを活かしたファシリテーションを実践されている加留部氏からご指導をいただきます。
- 15:00～15:30 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**